

第1回 新県民体育館整備等 基本計画検討会

令和7年7月4日



県民体育館の現状 (1) 設置場所

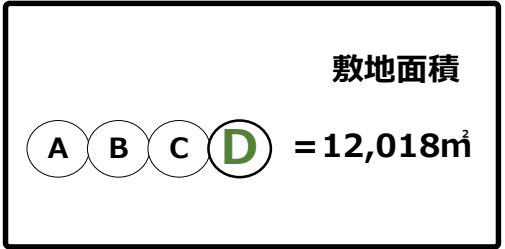
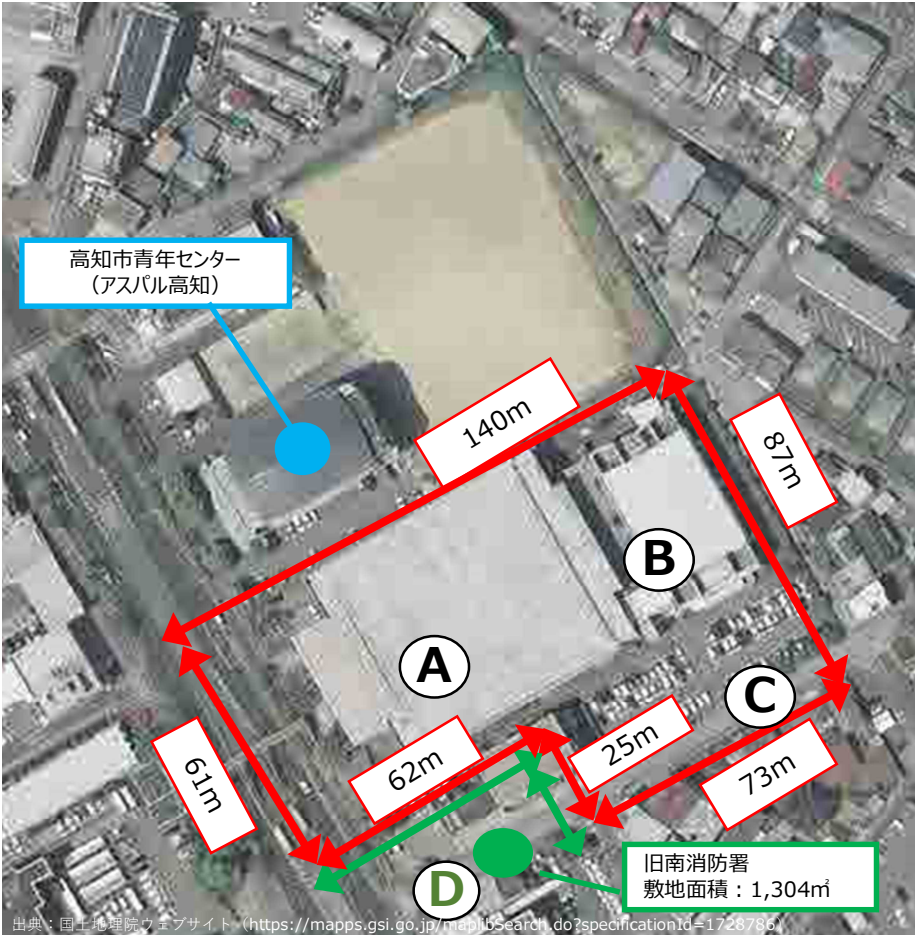
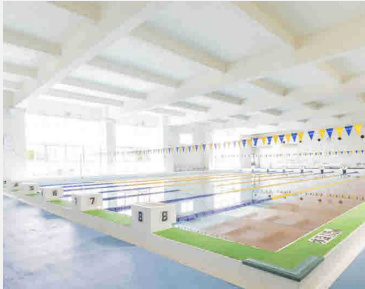


県民体育館の現状 （２）施設の概要

- 1. 設置年：昭和48年（1973年）
- 2. 所在地：高知市棧橋通2丁目1番53号
- 3. 面積：敷地面積：10,714㎡ 建築面積：6,094㎡ 延床面積：8,901㎡
- 4. 施設内容
 - 主競技場：1945.30㎡（39.7m×49m）
バスケットボール2面、バレーボール3面、バドミントン10面、卓球36面
定員4,644人 観客席(固定)1,572席
 - 補助競技場：786.48㎡（23.2m×33.9m）
 - 屋内プール：25m×8コース
 - 駐車場：82台
 - 空調設備：主競技場及び補助競技場に完備
- 5. 管理
 - 指定管理者：（公財）高知県スポーツ振興財団
 - 指定期間：R7～R11
 - 収支状況：

(R6年度)

収支	項目	金額(千円)
収入	県支出金	78,515
	使用料・手数料	36,231
	その他	11,782
	小計	126,528
支出	管理運営費	67,727
	人件費	64,669
	小計	132,396
収支差額		▲5,868



県民体育館の現状 （３）施設の課題

①老朽化等により、修繕コストがかかるとともに利用に支障が生じている

- ・近年、多額の修繕コストがかかっており、今後も必要な修繕が見込まれている
- ・修繕の工事期間中に利用できない状況が発生
- ・音響機器や放送設備、照明器具などが古く、構造上や在庫の状況から修繕が難しい設備がある

②土日祝や平日夜間の利用率が高く、ニーズに対応しきれていない

- ・県民体育館の各施設の土日祝及び平日夜間の稼働率はほぼ100%であり、日単位の利用者数も多い
- ・周辺施設（体育館・プール）の利用者も多く、稼働率もほぼ100%
- ・利用希望者は抽選により決定するが、抽選漏れで利用できない状況がある

③全国規模の大会やイベントなどに対応するためには観客席や駐車場が不足している

- ・観客席：現状（1,572席）
- ・駐車場：現状（82台）
- ・全国規模の大会やイベントの開催実績が少ない
- ・イベントは、コンサート、プロレス、相撲など

④プロスポーツなどのトップチームの大会の開催が一部の競技に限定されている

- ・トップチームによる試合は、ほとんどが野球やサッカーなどの屋外競技に限定
- ・既存の施設では、女性人気が高いバレーボール（Vリーグ）やバスケットボール（Bリーグ）、若者に人気のダンスなどを受け入れることが難しい
- ・全国的にはアリーナ型の施設整備が進んでおり、新たなスポーツの誘致については、施設面から不利な状況がみられる

<県民体育館の修繕費及び修繕内容>

単位：千円

	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
修繕費	106,020	0	149,900	11,908	2,662	7,590	12,461	778
修繕内容	・体育館・プール外壁改修 ・吊り天井脱落対策	-	・トイレ改修 ・補助競技場空調 ・モーター制御ユニット交換	天井・水槽壁改修	吐出口修繕	エレベータ修繕	プール躯体爆裂補修・水槽壁等改修	・プール棟ガス給湯器交換修繕 ・プール棟トイレ天井補修

<県民体育館の利用者数及び稼働率>（ ）は土日祝及び平日夜の稼働率 単位：人

施設	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
						利用者(稼働率)	利用人数/日
主競技場	84,656	44,398	48,928	64,347	74,000	73,333 (99%)	205
補助競技場	25,556	19,430	22,310	26,366	30,412	31,210 (99%)	87
プール	61,443	36,763	49,878	59,919	43,161	57,933 (99%)	201
合計	171,655	100,591	121,116	150,632	147,573	162,476	-

<高知市が管理する施設の利用状況：R6年度>

高知市 総合運動場	利用者数 (人)	稼働率 (土日祝・平日夜)	高知市 東部総合運動場	利用者数 (人)	稼働率 (土日祝・平日夜)
体育館(主)	91,367	99%	体育館(※)	27,017	94%
体育館(補助)		99%	プール(※)	47,324	99%
プール	71,307	99%	※体育館：10月～5月、プール：6月～9月		

<県民体育館で開催した全国規模の大会やイベントの実績>

項目	R元	R2	R3	R4	R5	R6
全国大会	2件	0件	1件	2件	2件	1件
イベント	0件	1件	3件	2件	0件	2件

<県内で開催した主なプロスポーツやトップリーグの大会の実績>

R2	R3	R4	R5	R6
・プロ野球PSM ・JFL公式戦 ・プロゴルフ公式戦	・プロ野球PSM ・JFL公式戦(サッカー) ・プロゴルフ公式戦 ・ラグビー公式戦	・プロ野球PSM ・JFL公式戦(サッカー) ・プロゴルフ公式戦 ・JCL(自転車) ・ソフトアジアカップ	・プロ野球PSM ・JFL公式戦(サッカー) ・プロゴルフ公式戦 ・JCL(自転車) ・ソフトアジアカップ ・Wリーグ(女子バスケ) ・天皇杯(サッカー)	・JFL公式戦(サッカー) ・プロゴルフ公式戦 ・Wリーグ(女子バスケ) ・天皇杯(サッカー)

1. 社会的背景・スポーツを取り巻く環境の変化

- (1)人口減少や少子高齢化によるスポーツ環境の変化
- (2)新型コロナウイルス感染症の影響やデジタル技術の進化によるライフスタイルの変化
- (3)スポーツを通じた健康増進、地域活性化、共生社会の実現への期待の高まり
- (4)オリンピック・パラリンピック等を通じたスポーツへの意識や国際交流への意識の高まり
- (5)スポーツニーズの多様化

2. 現施設の課題

■県民体育館の主な課題

- 老朽化等により、修繕コストがかかるとともに利用に支障が生じている
- 土日祝や平日夜間の利用率が高く、ニーズに対応しきれていない
- 全国規模の大会やイベントなどに対応するためには観客席や駐車場が不足している
- プロスポーツなどのトップチームの大会の開催が一部の競技に限定されている

■多目的グラウンドの主な課題

- 土日祝の利用が多く、ニーズに対応しきれていない
- J3に昇格した高知ユナイテッドSCの練習場所の確保が難しい

3. 整備において考慮するポイント

(1)スポーツ振興における施設面の課題への対応

- ◇プロスポーツの誘致や大規模な大会等の開催、日常的なスポーツ活動のニーズの多様化への対応など、さらなるスポーツ振興に向けた施設・設備の整備

(2)スポーツを通じた県政課題へ対応

- ◇交流人口や関係人口の拡大を含め、人口減少対策につながる整備

(3)災害時の避難環境の整備

- ◇整備候補地の環境を踏まえ、災害時の避難を想定した整備

(4)コストの削減

- ◇民間ノウハウを活用したイニシャルコスト(初期費用)及びランニングコスト(維持費用)の削減

(5)収益化の視点

- ◇継続して収益が得られるよう、多様な活動ができる施設・設備を整備

4. 基本方針策定に向けた重点ポイント

(1)スポーツ×エンタメ

- 全国規模の競技大会やプロスポーツの試合、コンサートなど、県内外から若者や子育て世代が集い、楽しめる空間を創出
- 全県規模の競技大会等の主たる施設として整備

(2)スポーツ×防災

- 災害発生時において、施設利用者の一次避難が可能な施設として整備

(3)同種施設との役割の明確化

- 周辺の同種施設の状況を踏まえ、県立のスポーツ施設として優先的に整備する機能・規模等を整理し実情に即した施設を整備

(4)ユニバーサルなデザイン

- すべての人が利用しやすいデザインを考慮した整備

5. 新施設の機能・規模

<新施設>

- ・**必要なフロア面積を確保**するとともに、大規模大会やプロスポーツ、多分野のイベントの開催が可能な**アリーナ機能**を整備することが望ましい
- ・フロアをはじめ、附帯設備などに**多様な活用を想定した機能**を整備することが望ましい
- ・**災害時の避難を想定した整備**をすることが望ましい
- ・誰もが**自由に集える憩いのエリア**をつくることが望ましい

具体的な内容案

- メインアリーナはバスケットボールコート2面～3面、サブアリーナはバスケットボールコート1面がとれる広さ
- メインアリーナは**5,000人程度**の観客を収容できる座席数
- 屋外に憩いのスペースと**現状以上の台数**を収容できる駐車場
- 多様な活用を想定した床、音響、照明、会議室・控室等の機能

6. 整備候補地

<新施設>

- ・交通アクセスの利便性を活かし、**県民体育館の現有地に整備**することが望ましい

<多目的グラウンド>

- ・**新たな整備については別途検討**する

7. スケジュール

※今後の検討を踏まえて適宜見直しを行う

R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度 (2029)
あり方 検討会	諸事項の 精査及び 基礎調査	基礎 調査	基本 計画	基本 設計	実施 設計
		解体 設計	事前 調査	解体 工事	工事
					供用 開始

<基礎調査>

- 基本計画の前提となる事項を調査・分析
- ・ステークホルダーの分析
- ・市場環境調査
- ・具体的な機能、規模
- ・整備手法
- ・概算事業費・運営体制及び料金設定 等

<基本計画>

- 施設整備全般(運用を含む)の骨格
- ・整備の基本方針
- ・施設計画
- ・概算工事費
- ・財源と県の実質負担額
- ・管理運営計画
- ・工事計画のまとめ 等

「新県民体育館整備等基本計画検討会」の今年度のスケジュールについて

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

